

(c) 撥弦楽器

c-1 ツィター (Zither) 図 2.19 上中央, 付録 E..1(d.2)の 1.

共鳴胴の表板に平行に弦を張って指やプレクトラムで撥弦する。胴の形状によっていろいろな形がある。アラブ圏ではカーヌーンになる。打弦にするとダルシマーやツィンバロン (ハンガリー), サントウール (イラン) になる。映画「第3の男」でポピュラーになった。

曲:「第三の男」(映画のサウンドトラックより)

作曲・演奏:アントン・カラス (Anton Karas)

【参考】ウクライナに「ネック付きのツィター」と呼べるようなバンドウーラ (bandura) という指弾きの楽器があるが、これはプレトリウスの「音楽大全」 (Syntagma Musicum) で“psalterium”として描かれているネックを持ったツィターのような楽器 (図 F.62 右下) の弦を右へ寄せたような楽器が紹介されており、バンドウーラはこれと繋がっていると思われる。バンドウーラは正面から見てフレット付きのネックの右側に胴を持ち、その上に音高別に多数の弦を長い曲がったブリッジ経由で張り、右手による撥弦は専ら胴上の弦で5指を用い、指板上の弦は左手で1本ずつ弾く低域用で、そのブリッジは中・高域用とは別に置かれている。エンドピンの裏側にハーブのペダルに相当する半音上下させるレバーを7本もっている。音域は左右合わせて5オクターヴ程度である。



バンドウーラ (ウクライナの民族楽器)

民音音楽博物館の HP (<https://museum.min-on.or.jp>) 「民族楽器」より

c-2 ポルトガルギター (Guitarra Portuguesa)

図 E.27 右, 図 H.45

丸形の胴（裏板は平板）でヘッドがクジャク型のねじ止めになっているのが外見的特徴。ファドの主楽器で、ファドの型に応じてリスボン型とコインブラ型がある。スチールの複弦6コースで、調弦はギターと同じであるが、複弦の一部はオクターヴ違い。

曲: "Ciganita" (シガニータ: ジブシーの娘) 【注: "C"は"Z"と等価】

演奏: アルマンディーニョ (Armandinho)

本名は Armando Augusto Freire, 1891-1946

remastered from National Sound Archives. 1992.

この楽器の名手と言われたアルマンディーニョの自作自演。
演奏はいいが、古い録音なので雑音が多い。

もうひとつはポルトガルギターの音そのものを聞いていただくための録音:

曲: "Naufragio" (ナウフラジウ: 難船) Alain Oulman 作曲

演奏: 日本人の2重奏"マリオネット"

(ポルトガルギター: 湯浅 隆, マンドリン: 吉田剛士)

CD: "Ilusão a Portugal" (イルザオン・ア・ポルトゥガル: ポルトガルの幻想)

OMAGATOKI SC-3143, 1995.